

## ●●● 参加申し込み方法・諸注意

サイエンスカフェ岡山のお申し込みは**お電話**でお願いいたします。

ライフパーク倉敷科学センター 086-454-0300

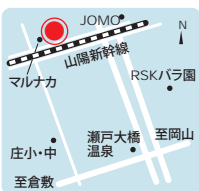
対象：中学生以上の一般

定員：第15,16,18,19回は20名, 第17回は60名, 第20回は40名  
(定員に達しだいしめきり)

飲食費：1000円

※サイエンスカフェの席上は**禁煙**です。

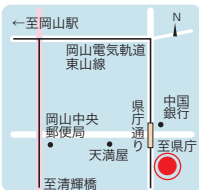
※駐車場が満車の際は、近隣の**有料駐車場**をご利用ください。



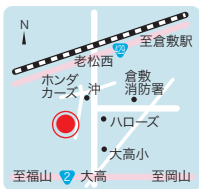
→ **ポンヌフ**  
倉敷市上東516-7  
☎086-462-8300  
<http://www.pontneuf.jp>



→ **夢空間はしまや**  
倉敷市東町1-20  
☎086-422-2564  
<http://www.hashimaya.com>



→ **ルネスホール**  
岡山市北区内山下1-6-20  
☎086-225-3003  
<http://www.renaiss.or.jp>



→ **ダヴ・コテッジ**  
倉敷市沖293  
☎086-423-0828



→ **キューティーパイ倶楽部**  
岡山市北区いずみ町2-1-4 (桃太郎アリーナ西側)  
岡山県総合グランド・クラブハウス内  
☎086-255-3939  
<http://www.bb-tiara.co.jp/cutiepie/>



## ようこそサイエンスカフェへ

楽しみ方は人それぞれ。  
会話に参加するもよし。  
聞くだけでもよし。  
必要なのは科学への興味だけ…。

「科学はむずかしい」なんて身構えずに、私たちはもっと身近に科学の会話を持ち込んでいいのではないのでしょうか？  
魅力にあふれている科学の世界なのですから、もっともっと味わわなければもったいない。

サイエンスカフェは、科学をテーマに専門家と市民が気軽に会話を  
楽しむことを目的としています。街  
角のカフェをお借りして、お茶を片  
手に科学談義。



専門家も参加者の一人として市民の輪の中に入りつつ話題を提供し、自由に語り合うことを通して、お互いに科学への興味や理解を膨らませていきます。

サイエンスカフェはこれまでの講義や講演会にはない、新しいスタイルの科学イベントなのです。

2007年より動き出し、今年が3年目となるサイエンスカフェ岡山。  
専門知識はいりません。ちょっとでも興味を持っていただけましたら、ぜひご参加ください。

●●● お問い合わせ  
サイエンスカフェ岡山実行委員会事務局  
ライフパーク倉敷科学センター  
☎ 086-454-0300

主催：サイエンスカフェ岡山実行委員会  
共催：倉敷市教育委員会(倉敷科学センター)  
国立天文台 岡山天体物理観測所  
後援(申請中も含む)：岡山県教育委員会/岡山市教育委員会

おいしい科学を召し上げられ...

Science Cafe **OKAYAMA**  
サイエンスカフェ岡山 2009

開催日時：2009年11月29日(日)～2010年2月20日(土)

主催：サイエンスカフェ岡山実行委員会

共催：倉敷市教育委員会(倉敷科学センター)

国立天文台 岡山天体物理観測所

サイエンスカフェ岡山の詳細および参加申し込みについては、Webサイトをごらんください

<http://www2.city.okayama.jp/lifepark/ksc/sciencecafe/> または「サイエンスカフェ岡山」で検索

➡ 参加申し込み方法など詳細は背面をご覧ください



第15回 11月29日(日) 15:00~17:30

唐崎 健嗣 Kenji Karasaki

株式会社ホットスター・天体映像撮影家(川崎市)

「黒い太陽を撮る!! ~皆既日食の魅力~」

➡ ポンヌフ(倉敷市上東)



今年7月22日岡山では部分日食でしたが、上海や奄美大島近辺では皆既日食が見られました。太陽と月と自分が一直線に並ぶ瞬間に、その地には夜が訪れます。「このすばらしい非日常的な風景を自分で体験することも大切だが、映像記録を続けることで多くの人に皆既日食の空気を感じてもらいたい」と語る唐崎さん。数々の記録映像を披露いただきながら皆既日食の魅力についてご紹介いただきます。



第18回 1月30日(土) 15:00~17:30

下条 圭美 Masumi Shimojyo

国立天文台 野辺山太陽電波観測所 助教(長野県)

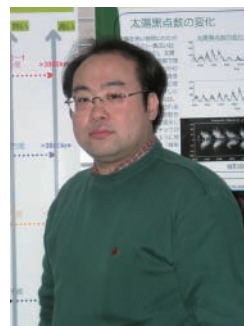
「知ってるようで知らない、おひさまの素顔」

➡ 夢空間はしまや(倉敷市東町)



地球上のすべての生物にエネルギーを与えてくれる恵みの源であり、もっともわれわれに近い『恒星』(自分で燃えて光り輝く星、夜空に見える星のほとんどは恒星)である太陽。その素顔は謎に満ちています。

太陽観測衛星や最新の観測装置で撮影された、知られざる太陽のダイナミックな素顔を紹介するとともに、太陽がわれわれの生活にどのように関わっているのか解説していきます。



第16回 12月13日(日) 15:00~17:30

阪本 成一 Seiichi Sakamoto

宇宙航空研究開発機構(JAXA) 宇宙科学研究本部 対外協力室 教授(神奈川県)

「宇宙(そと)に出てはじめてわかる地球(うち)のこと」

➡ 夢空間はしまや(倉敷市東町)

彗星探査機「さきがけ」、すいせい、火星探査機「のぞみ」、小惑星探査機「はやぶさ」、月周回衛星「かぐや」を経て、世界に伍する水準に達した日本の太陽系探査。さらに、2010年度に打ち上げ予定の金星探査機「あかつき」や、2014年度に予定されている水星探査機ベビコロポなどへと発展しようとしています。これらの惑星探査計画は、私たち生命が育まれた地球そのものをより深く理解することにつながります。日本の太陽系探査の現状と将来計画について展望します。



第19回 2月7日(日) 15:00~17:30

菊池 涼子 Ryoko Kikuchi

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会(KU-MA) (東京都)

「『星の街』~宇宙に一番近い町の話」

➡ ダヴ・コテッジ(倉敷市沖)

ロシア・モスクワ郊外に「星の街」というかわいい名前の町があります。中心にあるのは、ガガーリン宇宙飛行士訓練センター。ここで訓練を積み重ねた飛行士たちが、軌道400km上にある国際宇宙ステーションへ飛び、ハードな仕事をこなします。JAXAの飛行士たちも訓練に訪れるこの町で、菊池さんも19年前、「宇宙特派員」(秋山豊寛飛行士のバックアップクルー)として

住み込みで訓練を受けるという経験をしました。ガガーリン以来の伝統を大切にこの町の日常、そして「宇宙の日常」について紹介いただきます。



第17回 1月9日(土) 15:00~17:30

山海 嘉之 Yoshiyuki Sankai

筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授 / CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長(茨城県)

「人に寄り添うロボットテクノロジー」

➡ ルネスホール(岡山市北区内山下)

幼いころ、アイザック・アシモフの人気SF作品「われはロボット」を読み、人の役に立つ科学者になりたいという想いを抱いたという岡山県出身の山海先生。世界が目にするロボットとサイボーグ両方の特徴を併せ持った「ロボットスーツ」開発の原点になったと語っています。筋肉を動かそうという微弱な電位信号を感じ取り、あたかも身体の一部のように、その動きの手助けをしてくれるロボットスーツ。傷ついた身体のリハビリ、介護支援、災害現場のレスキュー活動など、人々に役立つ幅広い分野への応用が期待されています。



画像: Prof.Sankai University of Tsukuba / CYBERDYNE Inc.

第20回 2月20日(土) 15:00~17:30

高畑 誠 Makoto Takahata

山陽放送株式会社 気象キャスター(岡山市)

「天気予報の読み解き方」

➡ キューティーパイ倶楽部(岡山市北区いずみ町)

毎日利用している天気予報ですが、わたしたちはどこまで理解することができているのでしょうか。たとえば発表時間、これを知らない古い予報をみて失敗することもあるかもしれません。ころころ変わるときの週間予報の裏には何かがあるのか?どこまでが晴れでどこからが曇り?初氷ってだれが決めるの?突然の雨、濡れずにすむのは走ったとき?歩いたとき?天気予報の知識からお天気全般の話



題まで、地元放送局で活躍する気象キャスターが解説します。